

## <四分位数の求め方>

みんなが知りたいのは四分位数の求め方だね  
ここからはシンプルに1~〇のデータで確認。

四分位数を求めるために重要なのはデータの総数  
中央値の求め方を知っていれば2回繰り返せばOK！

<データの数が16個の場合(偶数)>

$16 \div 2 = 8$  なので中央値を境にデータを8個ずつに分ける。



よって8番目と9番目の平均値が中央値となる。

<データの数が15個の場合(奇数)>

$15 \div 2 = 7$  あまり1なので中央値を境にデータを7個ずつに分ける。



よって8番目の値が中央値となる。

偶数は2つの平均値、奇数は1つの値になると覚えよう。

このあと、第一四分位数と第三四分位数を同じ手順で求める。

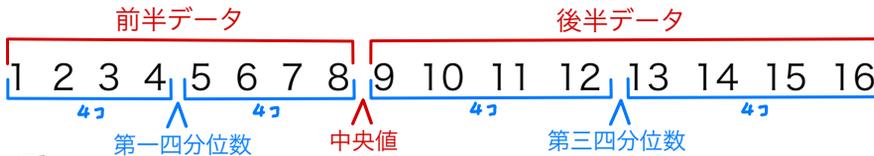
## <四分位数の求め方>

先ほど分けたデータを前半データ、後半データとおく。  
それぞれの半分のデータで再度、中央値を求める。

<データの数16個の場合>

前半データ、後半データがそれぞれ8個(偶数)となった。  
その中で中央値を求める。

$8 \div 2 = 4$  なので前半データ、後半データをそれぞれ4つずつ分ける。



よって、

4番目と5番目の平均値が第一四分位数、

8番目と9番目の平均値が中央値、

12番目と13番目の平均値が第三四分位数となる

<データの数15個の場合>

前半データ、後半データがそれぞれ7個(奇数)となった。  
その中で中央値を求める。

$7 \div 2 = 3$  余り1なので前半データ、後半データをそれぞれ3つずつ分ける。



よって、

4番目の値が第一四分位数、

8番目の値が中央値、

12番目の値が第三四分位数となる。

データの数が変わると分け方も変わる。

4通りの分け方に分類されるので、データ数が17,18,19,20の4通りでそれぞれ四分位数がどうなるか確認してみよう。